**●『改訂版 政治・経済』　年間指導計画と評価の観点の例**

数研出版 政経/317

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **月** | **時間** | **大単元****（学習項目）** | **小単元****（学習内容）** | **指導・評価の観点** |
|  | **第1編　現代の政治** |
| **4** | **5** | 第1章民主政治の基本原理と日本国憲法 | 第1節民主政治の基本原理1　政治と法2　民主政治のあゆみ3　民主政治の基本原理とその展開4　政治体制の比較 | ・日常生活の中で，政治や法との関わりを実感することができる《関心》・市民革命以降の民主政治の歴史的なあゆみを理解できる《知識》・民主政治の基本原理を，身近な集団生活の中で活用できる《技能》・現代の社会における民主政治の価値やその必要性を評価できる《思考》・日本と各国の政治体制を比較して，その違いを理解できる《知識》 |
| **5** | **7** | 第2節日本国憲法と基本的人権1　日本国憲法の基本的性格2　基本的人権の保障3　日本国憲法の平和主義 | ・日本国憲法と明治憲法を比較して，それぞれの特徴を理解できる《知識》・日本国憲法が，明治憲法よりいかに民主的であるかを考えることができる《思考》・主権者として，どのように政治に関われるかを意識することができる《関心》・日本国憲法にある権利を，身近な事例で示すことができる《技能》・日常生活における事例を，憲法の条文と関連づけて考えることができる《関心》・自衛隊や日米安保のあゆみと現状とを関連づけて理解できる《知識》・日本国憲法の平和主義を，現在の日本をとりまく国際情勢の中で評価できる《思考》 |
| **6** | **7** | 第3節日本の政治機構1　国会のしくみと役割2　内閣と行政機構3　裁判所のしくみと人権保障4　地方自治のしくみと住民生活 | ・国会・内閣・裁判所のしくみとその役割・関係を理解できる《知識》・国会での審議や内閣の閣議など，時事問題に関心を持つことができる《関心》・司法権の独立と違憲審査権など司法の特徴を理解できる《知識》・裁判員制度の導入によって，司法がどう変わったか考えることができる《思考》・地方自治のしくみを理解し《知識》，実際の地方自治を点検する《関心》ことができる・近年の地方分権政策によって，地方がどう変わったか考えることができる《思考》 |
| **7** | **3** | 第4節政治参加と民主政治の課題1　戦後政治と政党2　選挙制度のしくみ3　世論と情報化社会 | ・現実の選挙に対して，その争点や結果についてコメントできる《関心》・小選挙区，大選挙区，比例代表などの選挙の方法を比較できる《技能》・戦後の日本の政党政治のあゆみと「55年体制」を理解できる《知識》・望ましい選挙制度について，自分なりの考えを提示できる《思考》・マスコミの報道等が，世論の形成に与える影響を分析できる《技能》・マスコミのあり方とそれに対する個人のあり方について考えることができる《思考》 |
| **9** | **5** | 第2章現代の国際政治 | 第1節国際政治の動向1　国際社会の特質2　国際社会と国際法3　国際社会の組織化4　戦後国際政治の展開 | ・主権国家と国際社会を比較して，国際社会の特質を理解できる《知識》・国際社会における国際法の意義を考え，具体的な例をあげることができる《思考》・国際連合設立の必然性を理解し《知識》，その課題を考える《思考》ことができる・第二次世界大戦後の国際政治のあゆみを，概観して理解できる《知識》 |
| **9****・****10** | **3** | 第2節国際社会の課題と日本の役割1　核兵器の廃絶と軍縮問題2　地域紛争と人種・民族問題3　日本の国際的地位と役割 | ・第二次世界大戦後の米ソの軍拡競争と軍縮のあゆみを理解できる《知識》・民族・地域紛争の背景を知り，その展開と結果を確認できる《知識》・国際社会における日本の地位や立場の変化を把握できる《技能》・国際社会が，日本に対して期待している役割について考えることができる《思考》 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **月** | **時間** | **大単元****（学習項目）** | **小単元****（学習内容）** | **指導・評価の観点** |
|  | **第2編　現代の経済** |
| **10** | **3** | 第1章現代経済のしくみと特質 | 第1節経済活動の意義と経済体制1　人間と経済活動2　資本主義経済の発展と変容3　経済活動の主体 | ・資本主義経済と社会主義経済のしくみと特徴を比較・理解できる《知識》・資本主義経済の歴史的発展過程を把握して，現状を認識できる《知識》・経済活動の主体が，現実にどのような活動をしているか考えることができる《思考》 |
| **10****・****11** | **9** | 第2節現代経済のしくみ1　市場経済のしくみ2　物価の動向3　国民所得と経済成長4　財政のしくみと租税5　金融のしくみと働き | ・市場機構を理解して，市場経済に関する基本的知識を理解できる《知識》・習得した経済用語で現実の経済問題を説明できる《関心》《技能》・アルバイトなどの経験を通し《技能》，企業や経済に関心を持つ《関心》ことができる・物価の動向に対して敏感で，その変動の背景を推察して考えることができる《関心》・国民所得や経済成長を理解し《知識》，豊かさとは何かを考える《思考》ことができる・景気循環の要因を理解し《知識》，有効な経済政策を考える《思考》ことができる・財政・租税と金融のしくみとその役割について理解できる《知識》・日常の経済生活における，財政や金融の具体的な働きを考えることができる《関心》 |
| **11****・****12****・****1** | **10** | 第3節日本経済と福祉の向上1　戦後日本経済のあゆみ2　中小企業と農業・食料3　公害防止と環境保全4　消費者問題と消費者保護5　労使関係と労働市場6　少子高齢社会と社会保障 | ・高度経済成長からの産業構造の変化を資料等で確認し《技能》，その問題点について討論する《思考》《関心》ことができる・中小企業は，どのような企業活動を行っているか考えることができる《思考》・公害問題について，過去の歴史を振り返り，その取り組みを確認することができる《知識》・消費者問題の具体例をあげ《技能》，消費者のあり方について考える《思考》ことができる・日本の労使関係を理解し《知識》，労働問題について考える《思考》ことができる・日常生活に見られる高齢化や少子化の具体的な影響について考えることができる《思考》 |
| **1****・****2** | **3** | 第2章国民経済と国際経済 | 第1節国際経済の動向1　貿易と国際収支2　国際経済のしくみ | ・ボーダレス化やグローバル化を，話題にすることができる《関心》・貿易のしくみと国際収支の各項目の内容を理解できる《知識》・第二次世界大戦後の国際経済のあゆみとその特徴を理解できる《知識》 |
| **2** | **4** | 第2節国際経済の課題と国際協力1　地球環境と資源・エネルギー問題2　発展途上国の経済と経済協力3　国際経済における日本 | ・地球環境問題に対して，個人ができることを考えて実践できる《関心》・国際経済の実態を把握し《技能》，南北問題に有効な方策を考える《思考》ことができる・日本経済の位置を統計資料で把握し《技能》，国際貢献について考える《思考》ことができる・日本のこれまでの貿易摩擦の実態を時期別に比較して発表できる《技能》《思考》 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **月** | **時間** | **大単元****（学習項目）** | **小単元****（学習内容）** | **指導・評価の観点** |
|  | **第3編　現代社会の諸課題** |
| **3** | **2** | （第1節および第2節のそれぞれにおいていくつかの項目を選択して学習） | 第1節現代日本の諸課題1　少子高齢社会と社会保障2　地域社会の変貌と住民生活3　雇用と労働をめぐる問題4　産業構造の変化と中小企業5　農業と食料問題6　大規模自然災害とエネルギー問題 | ・現代日本が抱える諸課題に対して，積極的に関心を持ち，解決することへの意欲があり，その方法を考える態度が備わっている《関心》・少子高齢化の現状を把握し《技能》，社会保障の維持について考える《思考》ことができる・身近な事例を取り上げて《関心》，住民生活の変化について考える《思考》ことができる・具体例から現状を把握し《技能》，雇用環境の改善について考える《思考》ことができる・産業構造の変化を理解し《知識》，中小企業の存続について考える《思考》ことができる・現状を統計などで把握し《技能》，これからの農業について考える《思考》ことができる・東日本大震災を思い起こし《関心》，今後日本がどのようにエネルギーを確保していくのか，具体的に考える《思考》ことができる |
| **3** | **2** | 第2節国際社会の諸課題1　地球環境と資源・エネルギー問題2　国際経済格差の是正と国際協力3　人種・民族問題と地域紛争4　国際社会における日本の立場と役割 | ・地球規模の諸課題に対して，積極的に関心を持ち，解決することへの意欲があり，その方法を考える態度が備わっている《関心》・地球環境問題の現状を調べ，わかりやすく発表できる《技能》・地球規模の環境問題に対して，日本が果たすべき役割について考え，自分たちには何ができるのかを考えて実践できる《思考》《関心》・南北問題の実態を把握し《技能》，その解決方法を考える《思考》ことができる・ODAなど格差を是正する動きと，その成果を評価できる《思考》・民族問題や地域紛争の背景を知り《知識》，その関連について考える《思考》ことができる・国際社会における現在の日本の立場を，多面的に考察できる《関心》・国際社会に対する興味を高め《関心》，日本の役割を考える《思考》ことができる |

指導・評価の観点欄の《関心》は「関心・意欲・態度」を，《思考》は「思考・判断・表現」を，《技能》は「資料活用の技能」を，《知識》は「知識・理解」をさす。

■各教科の評価の観点及びその趣旨（高等学校及び特別支援学校高等部）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **公　　　民** | 関心・意欲・態度 | 現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。 |
| 思考・判断・表現 | 現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し，社会の変化や様々な考え方民を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。 |
| 資料活用の技能 | 現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。 |
| 知識・理解 | 現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 |